

「日本・ベルギー友好議員連盟」総会

式次第

令和4年5月18日（水） 15：00～

衆議院第1議員会館 地下1階 第5会議室

1.開会

2.挨拶 会長 林 芳正

ロクサーヌ・ドゥ＝ビルデルリング大使閣下

3.議事

（1）役員人事について

（2）趣意書と規約の改定について

（3）その他

4.最近の日本・ベルギー関係の状況について（外務省より）

5.閉会

<関係団体>

日本・ベルギー協会

会長 菅原公一 様 （株式会社カネカ代表取締役会長）

<関係省庁>

外務省欧州局 参事官 北川克郎 様

外務省欧州局 西欧課長 吉田昌弘 様

「日本・ベルギー友好議員連盟」趣意書（案）

ベルギー王国は慶應3年（1866年）に江戸幕府との間に「日本・ベルギー修好通商航海条約」を締結しており、わが国との外交関係で最も古い歴史を持つ国の1つです。その証しとして平成28年（2016年）には「日本・ベルギー友好150周年」記念行事も両国で開催され、国王夫妻も来日されています。

ナポレオン戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦と欧州を舞台とする幾多の戦争により戦場となり苦難を味わったベルギーは、欧州の恒久平和のための国家間連携に早くから取り組み、オランダ・ルクセンブルクとともにいわゆる「ベネルクス三国」として欧州統合に先駆的役割を果たしました。EU本部の立地するブリュッセルはベルギーの首都であるのみならずいわば欧州全体の首都であり、欧州外交の中心地です。また、米欧西側諸国の安全保障の根幹をなす機構であるNATO本部も同様にブリュッセルに置かれています。

明治新政府が岩倉具視を団長に木戸孝允、大久保利通、伊藤博文らを米欧に派遣したいわゆる「岩倉使節団」に同行した久米邦武（元佐賀藩士）の「米欧回覧実記」には、大国に囲まれながら個性を生かした国づくりで独立を保つベルギーに学ぶべきところがあると書かれています。現下の世界情勢を見ても同様の思いを抱かせるものがあります。

文化的にも、ユネスコ世界遺産である首都ブリュッセルのグラン・プラスの広場や運河に囲まれたブリュージュは日本人観光客も多く惹きつけており、ベルギービール、チョコレート、ワッフル、発祥の地であるフライドポテトといった食文化も、近年、日本人に親しまれています。

以上の観点から、日本とベルギーの間の政治・経済・文化にわたる関係強化はわが国の国益増進のため極めて重要であり、ここに新たな趣意書のもと、「日本・ベルギー友好議員連盟」の組織と活動のさらなる活発化を図るものであります。何とぞご賛同の上、ご入会賜りますようお願い申し上げます。

令和4年5月

发起人代表 会長 林 芳正

「日本・ベルギー友好議員連盟」規約（案）

第一条 本連盟は、「日本・ベルギー友好議員連盟」（略称：日白友好議連）と称する。

第二条 本連盟は、日本ベルギー両国議員相互の親睦と両国間の友好親善促進のため協力することを目的とする。

第三条 本連盟は、前条の目的に賛同する衆議院議員および参議院議員をもって構成する。

第四条 本連盟は、会長一名、副会長および幹事若干名、事務局長一名を置き、任期は二年として再任を妨げない。

第五条 本連盟に、最高顧問および顧問を置くことができる。

第六条 会長は会員の互選により、副会長・幹事・事務局長・最高顧問および顧問は会長の指名により選任する。

第七条 本連盟の経費は、会費をもってこれに充てる。

なお、会費は月額３００円とし、議員歳費から徴収する。

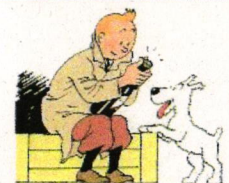
以上

在留邦人数:5,827人(外務省2021年)

一隣接する大湖地域(ルワンダ、ブルンジ)にも重大な関心。同地域の安定を実現する上で重要なプレイヤー。



A bowl of fish soup with various fish pieces and vegetables.



「タンタン」の国ベルギーでは
日本のマンガも人気

最近のベルギー情勢

政治

～伝統的な多党制、連立内閣による政権運営～

- 2019年5月総選挙では第一党のN-VA(蘭語系の地域主義政党)、伝統的政党(自由党、社会党、キリスト教政党)が議席減、環境政党が議席増。蘭語圏で極右政党フラムス・ベラング(VB)が躍進、仏語圏で極左の労働党が議席増。
- 蘭・仏語圏で右・左の地合いが異なるため連立交渉は難航し、総選挙前の職務執行内閣が継続していた。
- 2019年10月、ミシェル首相の欧州理事会議長就任に伴い、ウィルメス予算大臣(仏語系自由党)がベルギーで女性初の連邦首相に就任。連立交渉の結果、2020年10月、蘭・仏語系の社会、自由、環境政党及び蘭語系キリスト教政党の7党による中道のドウ＝クロー内閣が発足。ウィルメス前首相は外相に就任。政権任期は2024年まで。
- 同内閣は発足後からコロナ対策に追われてきたが、並行して、税制、労働市場、社会保障の改革、デジタル化、エネルギー転換・脱炭素化等の経済社会政策にも取り組んでいる。

経済

～先端技術を活用した貿易立国、経済は緩やかな成長～

- バイオテクノロジー、医薬、石油化学、宇宙・航空、ナノテク等、世界最先端の科学技術産業を擁する貿易立国。ファイザー社等のワクチン開発・生産拠点が所在。
- 新型コロナの影響を受け、2020年のGDP成長率は▲5.7%。連邦政府は経済対策として、税金・社会保障費減免、一時休業助成、個人事業主への給付金支給等を実施。
- 2021年のGDP成長率は6.1%となり、ベルギー経済は急回復。他方、まだ活動制限措置が続いている上、原材料・エネルギー価格の高騰や人手不足の影響などにより、景気回復の動きは鈍化しており、2022年のGDP成長率は、2.6%と予測されている。

外交・安全保障

～伝統的に多国間主義外交、欧州外交を重視～

- 欧州統合の推進とNATOを通じた安全保障の確保を重視。EU及びNATO本部は「欧州の首都」ブリュッセルに設置。
- ベルギー外交の伝統であるとして国連を中心とした多国間主義外交を重視。特に国連平和維持活動、人権問題等の分野に積極的に関与するほか、旧植民地のコンゴ(民)等、中部アフリカ諸国への外交を積極的に展開。近年ではアフガン(撤退済み)、マリ、ヨルダン、バルト地域等へ、NATO、EUや国連等と連携し兵力を派遣。
- 2019-20年は、国連安保理非常任理事国を務めた。
- 2015年11月13日のパリ同時多発テロ及び2016年3月22日のブリュッセル連続テロを受け、各国とのテロ対策の連携も課題。ベルギーは対テロ有志連合に参加し、2016年7月、イラク及びシリアへの空爆を実施(2020年10月から2021年9月までの間、3度目のF-16部隊派遣を実施)。

二国間関係

～皇室・王室交流、緊密な要人往来。2016年に友好150周年を祝賀～

- 外交関係樹立150周年を迎えた2016年、「日本・ベルギー友好150周年」と銘打ち両国で祝賀。
- 2016年10月、フィリップ国王王妃両陛下が国賓として訪日。
- 2017年7月、安倍総理がベルギーを訪問。ミシェル首相夫妻と夕食会を実施。
- 2018年10月、レンデルス副首相兼外相が訪日。河野外務大臣と会談を実施。
- 2019年10月、即位の礼正殿の儀に参列するため、フィリップ国王王妃両陛下が訪日。
- 2020年6月、日本はベルギーにアビガン錠を無償供与。同年7月、外相電話会談を実施。
- 2022年2月、フィリップ国王同王妃両陛下がドバイ博日本館をご訪問
- 2022年4月、林大臣がG7外相会合・NATO外相会合出席のためベルギーを訪問。ウィルメス外相と会談を実施。



フィリップ国王陛下と
マチルド王妃陛下



ドウ＝クロー首相 ウィルメス外相
蘭語系自由党所属 仏語系自由党所属
ウィルメス外相は配偶者の病気を理由に休職を
発表(4月)、当面はドウ＝クロー首相が外相を兼任。



NATOとEUの本部はブリュッセル所在



安倍総理とフィリップ国王陛下
(2019年10月、於：東京)



日・ベルギー外相会談
(2022年4月、於：ブリュッセル)